

令和3年第2回室蘭市社会教育委員の会定例会会議録（要旨）	
日 時	令和3年4月8日（木） 10時00分～11時10分
場 所	2階大会議室
出席委員	阿知良委員長、三村副委員長、井形委員、石井委員、大須賀委員、大平委員、小野委員、後藤委員、中村委員
欠席委員	佐野委員
事務局	國枝教育長、伊藤教育部長、西館教育部次長、佐々木主幹、佐藤主幹、伏見館長、谷中主査、松田主査、権平主事

<議事報告>

【日程1】

報告第1号 令和3年第1回室蘭市議会定例会について

(事務局) 事務局より説明した。

(質疑応答)

(A委員) 市の施設を設計、施工、管理まで民間委託するのが当たり前になっているが、これにより市の財政が助かったことがどれほどあったのか。市内の雇用はどれだけ改善されているのか。昔は市の直営で施設管理をしていたが、今のように何でも民間委託するのは、市民にとって良いのかなと思った。

(事務局) 予期しない修繕が必要となった場合、市直営施設は、市議会で補正予算を可決したり、入札したりする必要があり、修繕までに数ヶ月の時間を要するため、民間委託の方が比較的早い対応が可能となるなど、市民の利便性が向上すると考える。

(B委員) 環境科学館・図書館に関する答弁で、来館者が地元商店を利用した際にサービスを得られる仕組みづくりとあるのは、具体的にどのようなものを指すか。

(事務局) 例えば、大人の利用者のために、月1回程度夜間のプラネタリウム上映を行い、帰りに地元飲食店に立ち寄り、プラネタリウムのチケットを提示すると、サービスが受けられるような仕組みを検討中である。

(B委員) 観光や商業的利用を妨げないが、本来の目的である教育機能に支障が出ない運用とするべき。教育を優先させる眼差しは、大切にして欲しい。

(A委員) 市議会議員の、まちの活性化につながって欲しいという質問意図は理解するが、社会教育施設として儲けを念頭に置いてはならないと考える。

(B委員) うまく相乗効果が図られると良い。

(事務局) 中央地区のまちづくりとして、これから体育館ができる入江も含め、人の動線ができれば。まちの中を人が動くきっかけを作りたいと考える。

(A委員) 体験学習ができる施設として、修学旅行のメニューに加えるなど、内外へのPRが急務と感じた。

(B委員) 修学旅行なら、工場見学とセットにするなど、いろいろアイデアを出していける。

(C委員) 入江の体育館建設の際、地域住民へ説明を行うと思うが、説明の対象となる地区の考え方は。騒音が聞こえるのに、道路を挟んだ山手町が、周辺地

- 域と認識されないのは問題があると考える。
- (事務局) 説明させていただく地域の範囲は、地区連合町会に相談しながら決定したい。
- (B委員) 地形や家の形状など、それぞれの条件によって騒音の状況が違うと考える。建設前だけではなく、施設ができた後のフォローも大事である。きらん周辺の交通事情なども、時間が経ってから影響が出ていないか見る必要がある。

【日程2】

報告第2号 室蘭市青少年科学館条例施行規則廃止の件について

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答) なし

【日程3】

報告第3号 室蘭市社会教育中期推進計画について

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答) なし

【日程4】

報告第4号 5月・6月の行事予定について

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答) なし

【日程5】

研究協議 むろらん生涯学習情報について

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答)
- (B委員) 問合せの内訳は。
- (事務局) 団体からの問合せが18件、個人からの問合せが35件。
- (B委員) 室蘭のコアな情報が集まっている。趣味を増やしたい時に活用できる。学校の利用事例は。
- (事務局) 団体の問合せは学校からであった。
- (D委員) よく活用されているのはどの分野か。
- (事務局) 令和元年度は点訳の問合せが多かった。
- (B委員) 市民活動団体の掲載が増えると良い。

【日程6】

その他 令和3年度北海道及び胆振管内社会教育委員連絡協議会について

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答) なし

次回開催日 令和3年6月3日(木)